

国際広告賞に見る流れと、最近国内の流れ

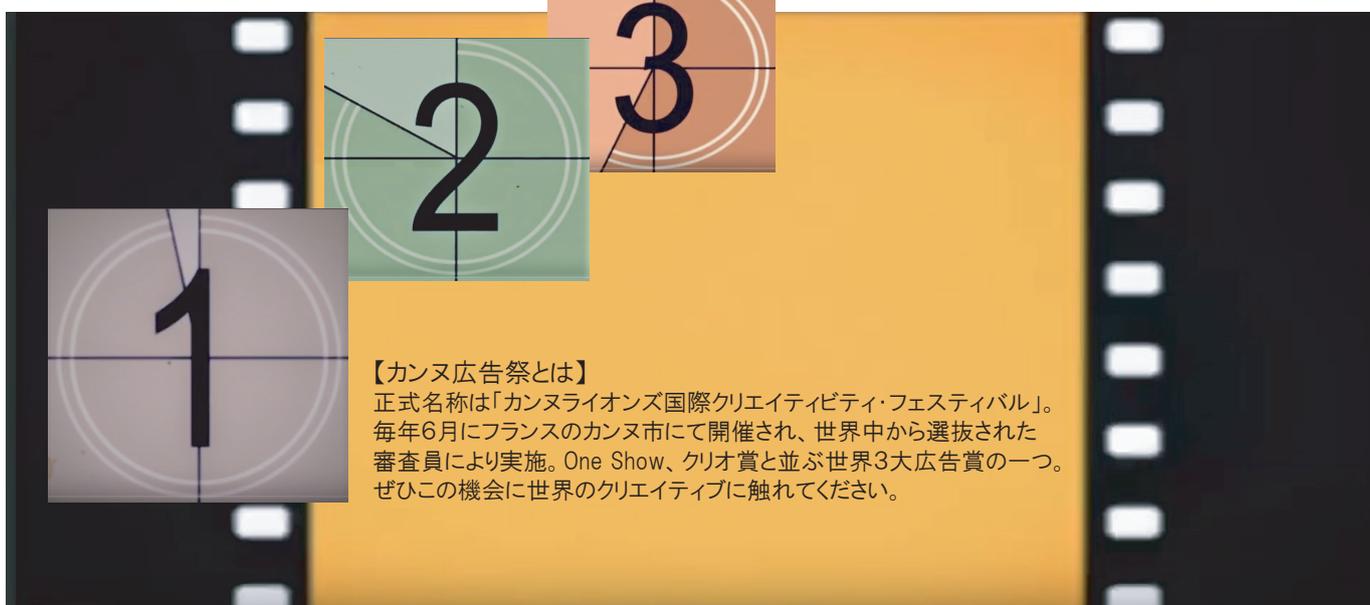
～海外CMの傾向から、これからの広告を考える～

講演：澤本嘉光氏 <<株電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター>>

カンヌ広告祭などの国際広告賞は、時代の流れを少し先取りした結果が出ることも多いものです。今年を受賞作の特徴などを確認しながら、いま日本国内で流れている広告、特にムービーについて考察をして行きます。



ソフトバンク「白戸家」、東京ガス「東京ガスストーリー」など、広告制作の第一人者として日本のCM表現を牽引する澤本嘉光氏。カンヌでも毎年審査員を務められる氏をお招きしてのクリエイティブセミナーです。



【カンヌ広告祭とは】

正式名称は「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」。毎年6月にフランスのカンヌ市にて開催され、世界中から選ばれた審査員により実施。One Show、クリオ賞と並ぶ世界3大広告賞の一つ。ぜひこの機会に世界のクリエイティブに触れてください。



澤本嘉光氏(さわもと よしみつ)

■株式会社電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター / CMプランナー

長崎県出身。東京大学文学部卒業。1990年(株)電通入社
ACC、TCCを始め、カンヌ広告祭、NYフェスティバル等受賞多数。クリエイター・オブ・ザ・イヤーを3度受賞している。

主な仕事はソフトバンクモバイル「白戸家」シリーズ、東京ガス「東京ガスストーリー」など。広告制作の第一人者として日本のCM表現を牽引しているクリエイター。また映画の脚本も手掛けており、「犬と私の10の約束」(原作・脚本)、「ジャッジ」(脚本)などを制作している。

10月5日(金) 14:40～(終了16:10)

北星学園大学 A館A703教室

入場無料

《ご注意》途中からの入場はご遠慮ください。教室内でのご飲食は固くお断りいたします。

《お問合せ》北星学園大学 社会連携課 011-891-2731